

Green Brave

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT



Round.8

MOTEGI GT 300km RACE GRAND FINAL

2023年11月4日(土)~5日(日) モリテイルソートもてぎ (栃木県茂木町)

■ ■ 平常心で最終戦を戦い7位入賞。悲願の年間チャンピオンを獲得 ■ ■

土曜日(予選日)の天候は晴。最終戦はノーハンデ戦のため、75kgのサクセスウェイトは降ろされています。95分間の公式練習は9時25分から行われ、吉田選手がコースイン。種類の異なるタイヤを試しながら、クルマのフィーリングをチェックします。約40分走行後、川合選手に交代。川合選手は同様にタイヤを試しながら、GT300の専有まで走行を担当します。ベストタイムは吉田選手が13周目にマークした1分47秒118。順位は3位ですが、チャンピオンを争う唯一のライバル、#2GR86が1分46秒635のトップタイムをマークしており、油断はできない状況です。

Q1(ノックアウト予選)はA、Bの2組に分かれて行われ、Green BraveはA組に出場。吉田選手は予選開始の合図とともにコースに入り、5周目に1分46秒676をマーク。3位につけ、Q2進出を果たしました。また、約40分後に行われたQ2では、川合選手が#2 GR86に続いてコースイン。4周目に1分46秒125をマークし、アタックを継続します。しかし、タイムを更新できず、順位は7位。#2 GR86が予選1位を獲得したため、両車のポイント差(ドライバーランキング)は20に。明日の決勝で#2 GR86が優勝しても、GR Supraが10位以内に入ればチャンピオン獲得となります。

日曜日(決勝日)の天候も晴。チームはスタートドライバーに川合選手を起用。早めのドライバーチェンジを行い、吉田選手に後半を託します。スタッフは異口同音に「平常心が大事」と語り、お互いに声をかけあっています。川合選手は7位をキープして1周目を終了。上位の順位に変動はなく、#31 LC500hに続いて走行します。5周目、予想外の雨が降り始め、徐々に勢いを増していきませんが、コーナーによっては晴れているところもあり、天候の予測がつかない状況。15周目にトップの#2 GR86が2位に順位を下げると、ほぼ同時に川合選手が#31 LC500hを抜き、6位にポジションアップ。ピット内は早くも大歓声に包まれます。レース距離の3分の1が経過した20周目前後から、ライバルが続々とピットに入り、吉田選手もスタンバイ。しかし、隣のピットを使うGT500クラスとの交錯を避け、天候を見極めるために走行を継続。翌周にピットインして吉田選手に交代します。店舗メカニックが給油のみの作業を行い再スタート。吉田選手は23周目にひとつポジションを下げ、11位を走行します。上位のピットインにより、順位は回復していきませんが、25周目にピットインを行った#2 GR86が吉田選手の前に入り、追いかける展開となります。37周目、上位で最後にピットインを行った#56 GT-Rが入りますが、吉田選手の順位は5位。このままチェッカーを受ければ#2 GR86の順位に関わらず、チャンピオン確定です。しかし、雨は降ったりやんだりを繰り返し、非常に滑りやすい状況。吉田選手は確実にチェッカーをうけるためにリスクを避け、慎重に走行します。53周目には3位を走行していた#2 GR86がピットイン。なんとレインタイヤに交換し、一発逆転を狙います。吉田選手は57周目に2つポジションを下げますが、#2 GR86に関する情報を無線で確認しながら、7位でチェッカー。作戦通りポイントを上乗せし、ドライバー&チームランキングともに#2 GR86に大差をつけ、悲願のGT300チャンピオンを獲得しました。



決勝結果 (GT300クラス)

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT
(吉田広樹/川合孝汰)

決勝: 7位 (59周、1時間54分19秒183)
予選: 7位 (Q2: 1分46秒125)

DRIVERS VOICE



吉田広樹 選手

(予選後) Q1 突破が目的だったので、それをクリアでき、良かったと思います。2号車が速いのはわかっていたので、それは仕方ないのですが、自分たちがもうちょっとできたことがあったかどうかを考えなければいけないと思っています。2号車ばかりを意識せずに、自分たちは自分たちの戦いをして、ベストを尽くすレースができればと思っています。今日のコンディションは間違いなく2号車のタイヤに合っていました。明日の天候次第では、こっちに向いてくることもあると思いますので、天候に合わせてベストを尽くせればと思います。

(決勝後) チャンピオンという形でチームの力を証明でき、すごくホッとしています。タイヤ無交換で前に出るというのがぼくらの作戦でしたが、天候が怪しかったので不安はありました。再スタートに手間取ったこともあり、ライバルが前に出てしまったのですが、自分たちのペースをしっかり保ち、ベストを尽くして一生懸命走りました。途中から雨が降ってきて地獄絵図のようでした。ちゃんとチェッカーを受けることに頭を切り替えて、混戦の中で走行したのですが、ノータッチでチェッカーを受けたので、そこが自分の役割だったかなと思います。



川合孝汰 選手

(予選後) もてぎはぼくらにとって課題があるコースなので、それを考えたら悪くない結果です。ぼくらは予選1位の2号車が、どういうタイヤを使っているのか知っていて、思ったより涼しいからどうなるかなと思っていたのですが、タイヤの差が出た気がします。前戦も結構なタイム差をつけられて予選1位をとられたのですが、決勝ではぼくらが勝っています。いいスタート位置にいますので、チーム力を活かしていいレースをしたいなと思います。

(決勝後) すごく厳しい状況で吉田さんに走っていただいたのですが、今年は絶対チャンピオンを取るという気持ちでやっていました。それがかない、メカさんたちのうれしそうなお顔と安堵の表情を見て、すごく安心しました。チームの強さの部分でいくと、安定感のある走りはできたのですが、いつもの追い上げは少しかなわなかったのが、悔やまれるところはあったのですが、チームがクルマをすごく進化させてくれたことで勝つことができました。GR Supraを4年も使うチームはあまりないと思いますし、このメンバーとこのクルマでチャンピオンをとれたということに、ぼく自身もすごく喜びを感じています。本当に良かったと思います。



GT300 クラス 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	JLOC ランボルギーニ GT3(ランボルギーニ ウラカン GT3)	59周
2位	LEON PYRAMID AMG(メルセデス AMG GT3)	59周
3位	DOBOT Audi R8 LMS(アウディ R8 LMS)	59周
4位	apr LC500h GT(レクサス LC500h)	59周
5位	K-tunes RC F GT3(レクサス RC F GT3)	59周
6位	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	59周
7位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT(トヨタ GR Supra)	59周

天候:晴/雨 路面:ドライ/ウェット ※トップ7まで(出走25台)

GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	52	埼玉トヨペット Green Brave	95
2位	2	muta Racing INGING	71
3位	56	KONDO RACING	70
4位	7	BMW M Team Studie×CRS	64
5位	88	JLOC	61
6位	65	K2 R&D LEON RACING	61

トップ6まで

PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



小倉クラッチ株式会社



株式会社カロッツェリアジャパン



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社西武ライオンズ



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



株式会社ドーム



株式会社日本ビューテック



株式会社プロモーション



株式会社プロモーション



Mechanix Wear LLC

※50音順